

11月18日 教育子ども委員会（青木ともこ委員・さいとう愛子委員）

請願
審査

なごやアクティブ ライブラリー構想は見直せ・・・ 「パブコメ」の814通もの意見を無視するのか

11月18日の教育子ども委員会で、「なごやアクティブ・ライブラリー構想に関する請願」及び「名古屋市の小中学校の給食費を無償にすることを求める請願（3件）」の4請願が審査されました。

意見の内容は検討中(教育委員会)

市立図書館の大幅な再編（アクティブライブラリー構想）についての請願審査では、青木議員がパブコメで寄せられた市民の意見を紹介し、「縮小は困る」「構想内容がわかりにくい」などの意見が419人814通もあったこと、図書館協議会の議論でも「わかりにくいが多い。賛成だが慎重に。説明不足を感じている意見が多い」などの意見があったことについて教育委員会の見解をいただきました。教育委員会は「パブコメの意見は今年度実施の中では一番多い。様々な人から意見をいただいたことはよかった。パブコメの内容は現在検討中」と答えました。

区 分	運営形態	蔵書(冊)	基礎的サービス		専門的サービス		新たなサービス	
			貸出・返却	おこななし会等の行事	専門資料の収集	市民や行政の課題解決支援	自動貸出返却	ゆとりの空間
中央館	直営	130万	○	○	○	○	○	○
地域サービス館	Aタイプ	15万	○	○	○	○	○	○
	Bタイプ	5~7万	○	○	—	△	○	○
	Cタイプ	1万	○	—	—	—	○	△
貸出返却ポイント	民間活力の活用を検討	—	○	—	—	—	—	—
協働運営ポイント		—	○	△	—	—	—	—
自動車図書館		—	○	△	—	—	—	—

(注) ○は実施を、△は一部実施を示す。

青木議員は「市民とともに歩んできた図書館が、知らないうちに再編構想を練られていたことに疑問がある。パブコメ前に説明会を全区でやるように求めたが、鶴舞図書館での1か所だけで、不十分な内容だった」などと市民の声を紹介し、教育委員会の説明に対する姿勢を厳しく追及し、請願の採択を求めました。教育委員会は「ニーズ調査やパブコメ、協議会や説明会で意見聴取に努めた」と答えるだけでした。

「学校給食の無償化を」は「保留」 直営自校給食を求める請願は不採択に

「小中学校の給食費を無償にすることを求める請願」について、青木議員は、教育の無償化を求める声が高まっており、無償化自治体も80を超え、文科省も調査を始めたことを示し教育委員会の見解をいただきました。教育委員会は「国は導入効果や課題を調査。就学援助制度で給食費を無料になる。他都市の動向など情報収集に努めたい」と答えました。青木議員は、「就学援助の申請の簡素化などの改善を行っても子どもの自尊心や親の抵抗もあるので、無償化を」と求めました。

また民間委託についても、教育委員会は「退職者不補充」を理由にしているが、全国に誇れる手づくり給食が後退すると指摘し、採択を求めました。

さいとう愛子議員の質問で、教育委員会が給食調理の民営化を計画している学校は経費のメリットから551食以上の71校が対象になることが判明。さいとう議員は、これ以上の民営化をやめるよう求めました。

請願・陳情審査の結果（2017年11月17日 教育子ども委員会）

請願番号	請願名	請願者	請願項目	各会派の態度					結果	
				共	自	民	公	減		
平成29年第13号	なごやアクティブ・ライブラリー構想に関する請願	名古屋市の図書館を考える市民の会	1 パブコメ後の10月に正式決定するスケジュールにとらわれることなく、パブコメの内容を十分精査した上で再検討を 2 新たな図書館の建設は、構想とは切り離して、早期建設に向け急いで具体化を 3 図書館運営に新たな施策を実施する時は市民に丁寧な説明を行い、意見を聞く	●	●	●	●	●	●	保留
平成29年第14号	名古屋市の小中学校の給食費を無償にすること等を求める請願	新日本婦人の会北支部 (667名)	1 小中学校の給食費を無償に 2 小学校給食調理業務は直営自校調理方式を守る	○	●	●	●	●	●	不採択
平成29年第15号	名古屋市の小中学校の給食費を無償にすることを求める請願	新日本婦人の会中村支部 (124名)	1 名古屋市の小中学校の給食費を無償にする	○	●	●	●	●	●	保留
平成29年第16号	名古屋市の小中学校の給食費を無償にすることを求める請願	新日本婦人の会愛知県本部 (704名)	1 名古屋市の小中学校の給食費を無償にする	○	●	●	●	●	●	保留